

## 札幌市の現状（案）

項 目	説 明																
1 人 口	<p>人口の推移（住民基本台帳）</p> <p>総人口はこれまで一貫して増加しており，今後も社会増による増加が見込まれます。なお，子ども（0～17歳）の人口は減少傾向を，老年人口（65歳以上）は増加傾向を示すと推計され，少子高齢化はますます進行すると推測されます。</p> <p style="text-align: right;">各年4月1日現在</p> <table border="1" data-bbox="478 622 1300 819"> <thead> <tr> <th>年 次</th> <th>総人口</th> <th>子ども（～17歳）</th> <th>老年（65歳～）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成5年</td> <td>1,704,135人</td> <td>359,210人</td> <td>171,351人</td> </tr> <tr> <td>15年</td> <td>1,837,901人</td> <td>299,670人</td> <td>289,223人</td> </tr> <tr> <td>22年</td> <td>約1,920,000人</td> <td>約280,000人</td> <td>約380,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">平成15年までは札幌市企画部，平成22年は札幌市児童家庭部の推計値</p>	年 次	総人口	子ども（～17歳）	老年（65歳～）	平成5年	1,704,135人	359,210人	171,351人	15年	1,837,901人	299,670人	289,223人	22年	約1,920,000人	約280,000人	約380,000人
年 次	総人口	子ども（～17歳）	老年（65歳～）														
平成5年	1,704,135人	359,210人	171,351人														
15年	1,837,901人	299,670人	289,223人														
22年	約1,920,000人	約280,000人	約380,000人														
2 世 帯	<p>世帯数の推移（住民基本台帳）</p> <p>世帯数も人口増とほぼ並行して増加しています。一方，1世帯当たりの平均世帯人員は減少してきており，今後も減少傾向を示すと推測されます。</p> <p style="text-align: right;">各年10月1日現在</p> <table border="1" data-bbox="619 1155 1249 1352"> <thead> <tr> <th>年 次</th> <th>総世帯数</th> <th>1世帯当たりの平均世帯人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成5年</td> <td>693,211世帯</td> <td>2.49人</td> </tr> <tr> <td>15年</td> <td>812,610世帯</td> <td>2.27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（参考）「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）による平成15年10月推計では，平成12年の平均世帯人員は2.67人で，平成37年には2.37人まで減少すると推計されています。</p>	年 次	総世帯数	1世帯当たりの平均世帯人員	平成5年	693,211世帯	2.49人	15年	812,610世帯	2.27人							
年 次	総世帯数	1世帯当たりの平均世帯人員															
平成5年	693,211世帯	2.49人															
15年	812,610世帯	2.27人															



項 目	説 明																																				
(3 出生)	<p>平成 13 年の状況を見ると、全国 (1.33) を大きく下回り、政令指定都市で最も低い水準となっています。</p> <p>(最高：北九州市 1.36，最低：札幌市 1.04)</p> <p>(注) 合計特殊出生率：15～49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数。</p>																																				
4 婚姻・離婚	<p>婚姻率・離婚率 (人口千対：平成 14 年人口動態調査)</p> <p>札幌市の婚姻率 (6.6) は全国 (6.0) より高くなっています。離婚率 (2.85) も全国 (2.30) を上回り、政令指定都市中、大阪市 (3.18) に次いで高い数値となっています。</p> <p>未婚率 (国勢調査)</p> <p>未婚率は男女ともに近年上昇傾向にあり、25～34 歳の年齢階級で見ると、札幌市の男性 (55.0%) は、全国 (56.9%) よりわずかに低くなっていますが、女性 (46.3%) は全国 (41.0%) よりも高くなっています。</p> <p>初婚年齢 (人口動態調査)</p> <p>札幌市の男性の平均初婚年齢 (28.8 歳) は、全国 (28.8 歳) とほぼ同水準で推移していますが、女性 (27.3 歳) は常に全国 (27.0 歳) を 0.3 歳程度上回って推移しています。全国、札幌市ともに女性の方が男性に比べてその上がり幅が大きくなっています。</p> <table border="1" data-bbox="619 1350 1203 1921"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: right;">各年中</th> </tr> <tr> <th>年 次</th> <th>札 幌 市</th> <th>全 国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">男</td> </tr> <tr> <td>昭和 60 年</td> <td>28.0</td> <td>28.2</td> </tr> <tr> <td>平成 2 年</td> <td>28.3</td> <td>28.4</td> </tr> <tr> <td>7 年</td> <td>28.4</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>12 年</td> <td>28.8</td> <td>28.8</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">女</td> </tr> <tr> <td>昭和 60 年</td> <td>25.9</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>平成 2 年</td> <td>26.3</td> <td>25.9</td> </tr> <tr> <td>7 年</td> <td>26.6</td> <td>26.3</td> </tr> <tr> <td>12 年</td> <td>27.3</td> <td>27.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">人口動態調査</p>	各年中			年 次	札 幌 市	全 国	男			昭和 60 年	28.0	28.2	平成 2 年	28.3	28.4	7 年	28.4	28.5	12 年	28.8	28.8	女			昭和 60 年	25.9	25.5	平成 2 年	26.3	25.9	7 年	26.6	26.3	12 年	27.3	27.0
各年中																																					
年 次	札 幌 市	全 国																																			
男																																					
昭和 60 年	28.0	28.2																																			
平成 2 年	28.3	28.4																																			
7 年	28.4	28.5																																			
12 年	28.8	28.8																																			
女																																					
昭和 60 年	25.9	25.5																																			
平成 2 年	26.3	25.9																																			
7 年	26.6	26.3																																			
12 年	27.3	27.0																																			

項目	説明																												
(4) 婚姻・離婚	<p>生涯未婚率（国勢調査）</p> <p>札幌市の生涯未婚率（50歳での未婚率）は、男性（9.5%）が全国（12.3%）よりも低くなっています。一方、女性（7.8%）は、全国（5.6%）を上回っています。</p>																												
5 労働力	<p>女性（有配偶）の年齢（5歳階級）別労働力率（国勢調査）</p> <p>総数では、札幌市（38.8%）は全国（48.4%）よりも約10ポイント低くなっています。15～34歳の各階級でも1～7ポイント低くなっていますが、35～74歳ではどの階級でも12ポイント以上低くなっています。</p>																												
6 住宅	<p>1住宅当たり延べ面積</p> <p>札幌市の「1住宅当たり延べ面積（ストックベース）」は77.68㎡と13大都市の中でも上位にあります。</p> <table border="1" data-bbox="670 963 1149 1624"> <caption>13大都市の1住宅当たり延べ面積（ストックベース）</caption> <thead> <tr> <th>都市</th> <th>延べ面積（㎡）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>北九州市</td><td>77.82</td></tr> <tr><td>札幌市</td><td>77.68</td></tr> <tr><td>千葉市</td><td>77.55</td></tr> <tr><td>広島市</td><td>77.29</td></tr> <tr><td>仙台市</td><td>76.56</td></tr> <tr><td>名古屋市</td><td>76.52</td></tr> <tr><td>神戸市</td><td>73.29</td></tr> <tr><td>京都市</td><td>71.51</td></tr> <tr><td>横浜市</td><td>71.08</td></tr> <tr><td>福岡市</td><td>65.27</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>60.59</td></tr> <tr><td>大阪市</td><td>59.56</td></tr> <tr><td>東京都区部</td><td>59.53</td></tr> </tbody> </table> <p>平成10年住宅・土地統計調査</p>	都市	延べ面積（㎡）	北九州市	77.82	札幌市	77.68	千葉市	77.55	広島市	77.29	仙台市	76.56	名古屋市	76.52	神戸市	73.29	京都市	71.51	横浜市	71.08	福岡市	65.27	川崎市	60.59	大阪市	59.56	東京都区部	59.53
都市	延べ面積（㎡）																												
北九州市	77.82																												
札幌市	77.68																												
千葉市	77.55																												
広島市	77.29																												
仙台市	76.56																												
名古屋市	76.52																												
神戸市	73.29																												
京都市	71.51																												
横浜市	71.08																												
福岡市	65.27																												
川崎市	60.59																												
大阪市	59.56																												
東京都区部	59.53																												
7 子どもの健やかな成長	<p>10代の人工妊娠中絶率（人口千対）</p> <p>札幌市の10代の人工妊娠中絶率（25.6）は、全国（13.0）を大きく上回っています。</p> <p>札幌市：「札幌市衛生年報」 全国：「平成13年母体保護統計」</p>																												

項 目	説 明				
( 7 子どもの 健やかな成長 )	未成年の喫煙率及び飲酒率				
	( % )				
			札 幌 市 ( 15 ~ 19 歳 )	全 国 ( 高校 3 年生 )	
			総 数	男	女
	喫煙率	15.8		36.9	15.8
	飲酒率	38.9		49.9	38.3
	札幌市：「平成 12 年札幌市健康づくりに関する市民意識調査」				
	全国：「平成 12 年度未成年者の喫煙及び飲酒行動に関する全国調査」				
	子どもに対する親の意識				
	札幌市では「虐待をしていると思うことがある親」の割合は全国に比べて低くなっています。				
また、「事故防止の工夫をしている家庭」、「心肺蘇生法を知っている親」、「かかりつけの小児科医がいる」の割合は、全国に比べて高い数値を示しています。					
( % )					
項 目	札 幌 市		全 国		
虐待をしていると 思うことがある親	10.2		18.1		
	4 か月, 10 か月, 1 歳 6 か月児, 3 歳児		1 歳 6 か月児	3 歳児	
事故防止の工夫を している家庭	19.4		4.2	1.8	
心肺蘇生法を知っ ている親	24.3		19.8	21.3	
かかりつけ小児科 医がいる	86.0		81.7		
札幌市：「平成 13 年母子保健に関する市民意識調査」					
全国：「平成 13 年度厚生労働科研究」					
「平成 12 年度幼児健康度調査」					

項 目	説 明																											
8 少子化 ・子育て意識	<p>結婚や家族などに関する価値観</p> <p>札幌市民の若い世代で、自分の生活を大切にし、既成の結婚観や家族観にこだわらない考え方が支持されています。</p> <p style="text-align: right;">(%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">結婚は個人の自由なので、してもしなくてもよい(そう思う)</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">93.4</td> </tr> <tr> <td>子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい(そう思う)</td> <td style="text-align: center;">86.0</td> </tr> <tr> <td>未成年の子どもがいても、事情によっては離婚もやむをえない(そう思う)</td> <td style="text-align: center;">75.6</td> </tr> </table> <p>「そう思う」=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」</p> <p>「平成 11 年少子社会に関するアンケート調査(若年層調査：20～34 歳)」(札幌市児童家庭部)</p> <p>女性のライフコース</p> <p>札幌市の未婚女性の「女性の理想の生き方」は、結婚・出産の機会にいったん退職し、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ「再就職コース」を過半数が支持しています。</p> <p>また、その傾向は、全国に比べて強くなっています。</p> <p>未婚女性の選んだ理想の生き方 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ライフコース</th> <th>非婚就業</th> <th>DINKS</th> <th>両立</th> <th>再就職</th> <th>専業主婦</th> <th>その他・不明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>札幌市(女性)</td> <td>2.7</td> <td>5.0</td> <td>18.7</td> <td>56.6</td> <td>10.0</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>全国(女性)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>28</td> <td>37</td> <td>19</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>「平成 11 年少子社会に関するアンケート調査(若年層調査)」(札幌市児童家庭部)</p> <p>「第 12 回出生動向基本調査(独身者調査)平成 14 年」(国立社会保障・人口問題研究所)</p> <p>ライフコースの説明</p> <p>「専業主婦」=結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない</p> <p>「再就職」=結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ</p> <p>「両立」=結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける</p> <p>「DINKS」=結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける</p> <p>「非婚就業」=結婚せず、仕事を一生続ける</p>	結婚は個人の自由なので、してもしなくてもよい(そう思う)	93.4	子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい(そう思う)	86.0	未成年の子どもがいても、事情によっては離婚もやむをえない(そう思う)	75.6	ライフコース	非婚就業	DINKS	両立	再就職	専業主婦	その他・不明	札幌市(女性)	2.7	5.0	18.7	56.6	10.0	6.8	全国(女性)	5	4	28	37	19	7
結婚は個人の自由なので、してもしなくてもよい(そう思う)	93.4																											
子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい(そう思う)	86.0																											
未成年の子どもがいても、事情によっては離婚もやむをえない(そう思う)	75.6																											
ライフコース	非婚就業	DINKS	両立	再就職	専業主婦	その他・不明																						
札幌市(女性)	2.7	5.0	18.7	56.6	10.0	6.8																						
全国(女性)	5	4	28	37	19	7																						

項目	説明					
( 8 少子化 ・子育て意識)	札幌市の子育て環境					
	札幌市の子育て環境について、肯定的に評価する人は、市民全体で約6割に達しています。					
	ただし、若年層では、その割合は半数を下回っています。					
	札幌市は子育てのしやすい環境 ( % )					
		そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	わからな い・不明
	市民全体 (20～69歳)	19.6	43.6	22.2	2.9	11.7
	若年層 (20～34歳)	5.8	40.5	30.9	5.2	17.5
	「平成11年少子社会に関するアンケート調査」(札幌市児童家庭部)					
	子育て不安感					
	子育て中の多くの女性が育児不安や心配ごとを感じています。					
子育てに心配ごとがある母親 ( % )						
	4か月児 の母親	10か月児 の母親	1歳6か月児 の母親	3歳児 の母親		
心配ごとあり	45.5	53.9	64.4	70.1		
「平成13年母子保健に関する市民意識調査」						
(参考) 全国：子育てに自信が持てない母親 27.4% (「平成12年度幼児健康度調査」)						
女性が子育てと就労を両立するために必要なこと						
子育てをしながら働く女性の多くが、今後も働き続けるために改善が必要なこととして、「子育てに対する職場の理解・支援の不足」や「保育施設の不足」を理由として挙げています。						
母親が働くための改善要素(複数回答：上位6項目) ( % )						
子育てに対する職場の理解不足				52.4		
職場の支援体制が不十分				49.4		
保育施設数の不足				42.9		
雇用・再就職が困難な状況				38.6		
育児休業が取りにくい雰囲気				32.2		
働きづらい職場の雰囲気				32.2		
「平成11年少子社会に関するアンケート調査(若年層調査)」(札幌市児童家庭部)						

項 目	説 明			
( 8 少子化 ・子育て意識)	子育てにより生じる問題・デメリット			
	「経済的負担」(52.4%)、「精神的・肉体的負担」(45.7%)、「余暇の時間がない」(42.1%)を子育てにより生じる問題・デメリットとして挙げている女性が多い。			
	また、「経済的負担」については男女間で大きな差はないが、「精神的・肉体的負担」、「余暇時間がない」、「仕事との両立」という面では男性より女性のほうがより多くデメリットを感じている。			
	子育てにより生じる問題・デメリット(複数回答) (％)			
	項 目	全 体	男	女
	経済的に負担が大きい	53.7	56.6	52.4
	精神的・肉体的に負担が大きい	39.6	26.9	45.7
	余暇の時間が持てない	36.7	25.6	42.1
	仕事をするチャンスが減る	28.6	9.1	38.0
	仕事に全力投球できない	26.2	8.8	34.6
行動範囲が狭まる	26.0	21.5	28.2	
人と交流する機会や時間が減る	15.7	10.8	18.1	
「平成 11 年少子社会に関するアンケート調査(市民全体調査)」(札幌市児童家庭部)				
理想の子ども数より少ない理由				
約 5 割の人が理想の子ども数より現在の子どもの数が少ないと答えています。その理由として、「家計にゆとりがほしい」と「教育費がかかる」の経済的理由が上位に挙がっています。				
理想の子ども数より少ない理由(複数回答:上位 8 項目) (％)				
項 目	全 体	男	女	
家計にゆとりがほしい	34.1	30.6	35.9	
教育費がかかる	27.6	27.6	27.7	
健康上の理由	21.8	20.4	22.6	
年齢的な理由	21.2	20.4	21.5	
仕事と育児の両立が難しい	14.0	12.2	14.9	
住宅が狭い	11.3	12.2	10.8	
配偶者と意見が合わない	10.6	11.2	10.3	
育児の身体的・精神的負担が大きい	10.2	7.1	11.8	
「平成 11 年少子社会に関するアンケート調査(市民全体調査)」(札幌市児童家庭部)				



